

## 会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回春日学園コミュニティ・スクール（CS）推進会議		
開催日時		2023年5月18日（木） 開会 18:30 閉会 20:25		
開催場所		つくば市立春日学園義務教育学校 D棟2階多目的室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	吉田 真由美、金澤 千尋、吉田 和宏、森田 修司、白井 奈々絵 樋口 直宏、桐生 修、間野 聡子 春日学園義務教育学校 校長：根本 智、副校長：星野 美千代、教頭：内城 志津香、中島 良浩、教務主任 坂本 敬持、久保 絵美		
	その他			
	事務局	教育局次長 久保田靖彦 学び推進課 : 課長 岡野 知樹 生涯学習推進課：課長補佐 色川 純子、 社会教育主事 村上 和宏、地域連携教育指導員 小島 健、 社会教育指導員 佐藤 博		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 学校運営の基本方針について 2 学校の教育活動の紹介について 3 熟議「CSを通して学園として保護者として地域としてできることは」		
会議録署名人		確定年月日	年	月 日
会議次第	1 開会 2 選任通知書交付 3 挨拶 説明 座長・副座長選出 4 協議 学校運営の基本方針について 学校の教育活動の紹介 5 その他			

＜審議内容＞	
1	開会
2	選任通知書交付（久保田次長より代表者へ） 地域学校協働活動推進員委嘱状交付（同上）
3	教育長挨拶 久保田次長代読 委員・職員紹介
4	説明事項：つくば市CSの導入について（社会教育主事 村上）
(1)	これからの学校と地域について
(2)	CSとは
(3)	つくば市CS導入予定（今後について）

5 座長・副座長の選出 座長：樋口 直宏 委員 副座長：桐生 修 委員  
6 協議

(1) 学校運営の基本方針

・学校長からの学校運営の基本方針についての説明。

(2) 学校の教育活動の紹介

・坂本教務主任から学校の実情や児童生徒の様子、教育活動について映像に沿って説明。

→(1)と(2)の説明を受け、基本方針が出席者満場一致で賛同される。

本方針で学校運営をしていく。

(3) 熟議

テーマ「自ら学び、伝え合い、高め合うことができる児童生徒の育成～豊かな心の触れ合いとは～」

・座長とファシリテーターの中島教頭からワークショップの説明

・【Aグループ】

現状：穏やかで優しい。春日の生徒は仲が良い。見られることに慣れている。挨拶ができない。地域とのつながりが薄い。縦横のつながりが無い。

願い：学校、地域に興味をもつ。地域から声かけや、交流を深めていきたい。グローバルに活躍して行ってほしいけど、地域にも根付いて行ってほしい。成人式をきっかけに地域に目を向けていければ。

・【Bグループ】

現状：普通の子が多い。1～9年がいる良さが生かされない。お手本となる子があまりいない。子だけでなく親も挨拶が苦手。親ができないものは子供もできない。

願い：自分で生きていけるように。コミュニケーションが取れる子になって行ってほしい。

・【Cグループ】

現状：優しい。穏やか。自己表現が上手だが、その反面自分から進んで実践するというより待っている子が多いとも感じる。外遊びが少ない。授業スタイルの見直し。外部との交流をもっと盛んにしてほしい。教えすぎず自立を促したい。生活習慣の見直し。つくばはよい環境なので、感性を磨いてほしい。

願い：知り合いになれるような取組があるといい。自分からいろいろなことを発信できる子になってほしい。自分の良さを生かして、強く生きて行ってほしい。

(4) 質疑

・質問：CSで考え、実践していったことの評価について

答え：春日学園のなかで自己評価していく。(学校評価アンケート等)

(5) その他

・今度のCSの予定について(副校長)

第2回春日学園CS推進会議 7月13日(木)午後

第3回春日学園CS推進会議 11月7日(火)授業参観

第4回春日学園CS推進会議 2月21日(水)18:30～ 次年度への本格導入について

7 閉会

# 令和5年度第1回春日学園コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和5年5月18日（木）18：30～

場所：春日学園義務教育学校 多目的室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 選任通知書交付

### 3 挨拶

### 4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクール導入について

### 5 座長・副座長の選出

### 6 協 議

#### (1) 学校運営の基本方針について

#### (2) 学校の教育活動の紹介

※（1）（2）後に「CSを通して、学園として、保護者として、地域としてできることは」について話し合いをする予定です。

#### (3) その他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

### 7 閉 会

令和5年度 春日学園コミュニティ・スクール推進会議

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職
1	(1) 児童・生徒の保護者	吉田 真由美	よしだ まゆみ	P T A副代表
2	(1) 児童・生徒の保護者	金澤 千尋	かなざわ ちひろ	P T A副代表
3	(2) 地域住民	吉田 和宏	よしだ かずひろ	地域コーディネーター P T A代表
4	(2) 地域住民	森田 修司	もりた しゅうじ	地域コーディネーター
5	(2) 地域住民	白井 奈々絵	しらい ななえ	吾妻まつり協力者
6	(3) 各学校長・教職員	根本 智	ねもと さとし	学校長
7	(3) 各学校長・教職員	星野 美千代	ほしの みちよ	副校長
8	(3) 各学校長・教職員	内城 志津香	うちしろ しづか	教頭
9	(3) 各学校長・教職員	中島 良浩	なかじま よしひろ	教頭
10	(3) 各学校長・教職員	坂本 敬持	さかもと けいじ	教務主任
11	(3) 各学校長・教職員	久保 絵美	くぼ えみ	教務主任
12	(4) 学識経験者	樋口 直宏	ひぐち なおひろ	筑波大学
13	(5) 関係行政機関の職員	桐生 修	きりゅう おさむ	つくば市役所
14	(6) 教育委員会が適当と認める者	榮木 憲太郎	えいき けんたろう	コーチング
15	(6) 教育委員会が適当と認める者	間野 聡子	まの さとこ	特定非営利活動法人 ままとーん
16				
17				
18				
19				
20				

令和5年度 つくば市立春日学園義務教育学校ランドデザイン



どこよりも早く明日の教育に出会える学園  
You can attain the modern style of Education at KASUGA.

<p><b>【茨城県教育目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう</li> <li>◇じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う</li> <li>◇郷土を愛し協力しあう心を育てる</li> </ul>	<p><b>【学校教育目標】</b> 未来を拓き 社会に貢献できる人材の育成</p> <p><b>【目指す児童生徒像】</b> しなやかな知性 ゆたかな感性 たくましい心身</p> <p><b>【目指す教師像】</b> 子どもの気持ちを理解できる教師 学び続け 授業力の高い教師</p>	<p><b>【つくば市教育目標】</b> 学びたくなる楽しい学園・学校 世界の明日をひらく 社会力豊かな 幼児・児童・生徒の育成</p> <p><b>【学びのイノベーション】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「教え」から「学び」へ</li> <li>◇「管理」から「自己決定」へ</li> <li>◇「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ</li> </ul>
--	---	---

★義務教育9年を貫く学びの連続性（系統的な指導、多様な異学年交流、リーダー学年の活躍の場）

<p>前期（1年～4年） ～ 学びの土台作り ～</p>	<p>中期（5年～7年） ～ 学びの定着・拡充 ～</p>	<p>後期（8年・9年） ～ 学びの深化・発展 ～</p>
----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

★必要な力（学力）

- ① 課題を発見する力
- ② 課題解決に向け、他者と協力し、試行錯誤しながら探求する力
- ③ 学んだことを実社会や自己向上に生かそうとする力

**【組織目標】** 自ら学び、伝え合い、高め合うことができる児童生徒の育成

<p><b>ゆたかな感性</b></p> <p>★ 自分なりの目で物事を見て、自分の心で深く考えようとする姿</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 豊かにかかわり合う力の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権意識を育む環境づくり・多様性の尊重</li> <li>○学級活動や生徒会活動等における自発的・自治的な活動の推進</li> <li>○SDGsを意識した、実社会とつながる学びへの深化</li> <li>○外部人材を活用した豊かな体験活動</li> </ul> </li> <li>② 自己指導能力の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己決定の場や機会工夫</li> <li>○自己有用感の向上</li> <li>○共感的人間関係の育成</li> </ul> </li> <li>③ 道徳教育の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな体験、内面に根ざした道徳性の育成</li> <li>○いじめの未然防止に向けた、「考え、議論する道徳」への質的転換</li> </ul> </li> </ol> <p>★自分にはよいところがある。（◎85%以上、◎80%以上）</p> <p>★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。（◎100%、◎100%）</p>	<p><b>しなやかな知性</b></p> <p>★ その状況に応じて、必要なものを活用して課題を解決しようとする姿</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善             <ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら課題を発見し、多様な他者と協働して試行錯誤しながら解決する教育活動の充実</li> <li>○教科担任制による専門性を生かした魅力ある授業</li> </ul> </li> <li>② ICT機器の効果的活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の基盤となる情報活用能力の育成</li> <li>○情報モラル教育の充実</li> <li>○個別最適化学習と協働的な学びの充実</li> </ul> </li> <li>③ 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりの教育的ニーズに合った適切な支援</li> <li>○ユニバーサルデザインの視点による授業づくり</li> </ul> </li> </ol> <p>★課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。（◎85%以上、◎90%以上）</p> <p>★話し合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりできる。（◎85%以上、◎85%以上）</p>	<p><b>たくましい心身</b></p> <p>★ 命の尊さを知り、困難なことにも前向きに立ち向かおうとする姿</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自己理解・自己管理能力の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>○コーチング等によるメタ認知能力の育成</li> <li>○自己の生き方をみつめる系統的なキャリア教育の推進</li> </ul> </li> <li>② 健やかな身体づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の定着</li> <li>○薬物乱用防止教室、命の教室等の充実</li> <li>○運動量の確保と継続して運動に親しむ態度の育成</li> </ul> </li> <li>③ 安心・安全な教育環境づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>○危機回避能力を育てるための計画的な防災・安全教育</li> <li>○教育相談の充実と、教職員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが連携・分担しながらのチーム支援</li> </ul> </li> </ol> <p>★同じくらしい時刻に寝る。（◎90%以上、◎85%以上）</p> <p>★難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。（◎75%以上、◎70%以上）</p>
---	---	--

<p>◆カリキュラムマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもや地域の実態を踏まえた教育課程を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教科等横断的な教育課程を編成</li> <li>(2) PDCAサイクルで絶え間ない教育の質向上</li> <li>(3) 地域と連携した授業の編成</li> </ol>	<p>◆STEAM(スティーム)教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくため、教科等の横断的な視点に立った教育活動を推進する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 科学的に思考し、吟味して活用する力</li> <li>(2) 学びを生活や社会、自己向上に生かそうとする力</li> </ol>
--	--

**【働き方改革の推進】** ①義務教育学校の特色を生かした協働体制の確立 ②部活動の負担軽減

**【コミュニティ・スクールの導入：地域とともにある学校づくり・人づくり・地域づくり】**  
 <学校・家庭・地域の連携・協働体制の構築>  
 ○学校の情報や課題の共有 ○質の高い学校教育の実現 ○地域づくり（地域の課題解決）



春日学園の創立について



- 創立記念日  
春日学園の設置が公示された日(平成23年9月22日)を記念して、9月22日を創立記念日とする。
- 校章 デザイン:中島澄枝  
中心は春日の文字を象徴化したもので、周囲の9枚の葉は、1~9年生の児童生徒を表している。
- 校歌 作詞:柿沼宜夫(元つくば市教育長)  
春日学園はつくば市の未来を拓くシンボルである。子どもたちには、大志を抱き世界へ羽ばたいてもらいたい。9年間の新たな出会いの中で一人一人が輝いてもらいたいという思いで作詞した。  
作曲:鶴田昭則  
つくばは、古く万葉の時代の人々からも、詞に詠まれている素晴らしい地である。作詞者の詞には、ここに住む「子どもの夢」や「子どもへの期待」がやさしく時には強く語られ、また、未来へと続く道も示されており、大きな感銘を覚えた。
- 校木 メタセコイア

平成24年度	4. 1	初代校長 岡野 和夫 就任
	4. 5	茨城県初施設一体型小中一貫校春日学園開園式
	4. 17	平成24.25年度つくば市教育委員会指定「小中一貫教育推進校」
	3. 4	フランスグルノーブル市団表敬訪問
平成25年度	11. 21	小中一貫全国サミット開催
	12. 9	アゼルバイジャン共和国通信情報技術大臣表敬訪問
	3. 4	普通教室7教室増築
平成26年度	4. 1	2代校長 片岡 浄 就任
	4. 1	つくば市教育委員会指定「つくばスタイル科研究推進校」
	5. 23	平成26・27年度パナソニック教育財団第40回特別研究指定校
	11. 19	Microsoft Shoecase schools2015認定
	11. 20	第28回関東甲信越地区中学校理科教育研究大会茨城大会
	3. 9	普通教室3教室増築
平成27年度	4. 1	平成27年度文部科学省教育課程研究指定校
	5. 18	民主党文部科学部門視察
	9. 18	ホーチミン市師範大学特殊教育学部長表敬訪問
	10. 26	文部科学省教育課程企画室専門官、初等中等教育局企画官視察
	11. 10	つくば市学校ICT教育40周年記念 「21世紀の学びを変えるICTを活用した小中一貫教育研究大会」
	2. 9	文部科学大臣政務官視察
	2. 29	新校舎(普通教室11教室)建築
平成28年度	4. 1	全国初の義務教育学校「つくば市立春日学園義務教育学校」 初代校長 片岡 浄
	4. 26	「学校情報優良校」認定表彰
	6. 2	中国・台湾・トルクメニスタン表敬訪問
	9. 13	文部科学省指定 音楽科研究授業・研究協議会 初等中等教育局教育課程課教科調査官視察
	11. 22	平成27・28年度 文部科学省教育課程指定校研究(論理的思考) 国立教育政策研究所研究発表会
平成29年度	4. 1	2代校長 石川 榮樹 就任
	6. 1	全国小学生歯磨き大会(~9日)
	11. 23	市制施行30周年式典特別コンサート 教育情報化最優秀校表彰(和歌山) お別れ会
平成30年度	3. 30	学園の森義務教育学校との分離
	4. 1	学園の森義務教育学校との分離
	6~11	国立教育政策研究所による協力校指導訪問
	11. 30	春日学園義務教育学校公開授業
令和元年度	4. 1	3代校長 綿引 良文 就任
	11. 1	茨城県教育委員会 優秀教職員 表彰
	11. 14	文部大臣 優秀教職員 表彰
	1. 29	茨城県教育委員会教育長 茨城県健康推進学校 表彰
令和2年度	8. 22	セイコーゴールデンランプリ陸上2020東京~ライジングスター陸上~9年
	12. 22	茨城県教育委員訪問
令和3年度	4. 1	4代校長 栗山 賢司 就任
	4. 1	令和3・4年度つくば市教育委員会指定事業「研究指定学園」
	12. 24	第65回 日本学生科学賞 表彰 科学部
	2. 18	令和3年度茨城県よい歯の学校「茨城県歯科医師会長賞」 表彰
令和4年度	11. 11	市指定研究 研究発表会 キューバ大使訪問
	11. 25	プレゼンテーションコンテスト・ICT教育45周年記念事業
	1. 31	台湾康橋国際学校視察訪問
令和5年度	4. 1	5代校長 根本 智 就任

2023年度 学校要覧



You can attain the modern style of Education at KASUGA



平成28年度から本学園は、学校教育法第1条の改訂に伴い、全国で初めての義務教育学校「つくば市立春日学園義務教育学校」となり、今年で8年目を迎えます。開校以来、施設一体型小中一貫校として、「どこよりも早く明日の教育に出会える学園」をスローガンに、様々な教育活動を進めています。

3つの重点

- 9か年の学びの連続性を大切にした教育  
継続的・系統的な学びを通し、自ら学び、伝え合い、高め合いながら課題解決ができる児童生徒の育成
- 楽しく感動のある教育  
学年学級経営を基盤とした人間関係づくりと、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 地域に根ざした教育  
PTAや地域、筑波大学、研究機関等との連携の推進

児童・生徒数

学年	男子	女子	合計
1年生	58	55	113
2年生	53	47	100
3年生	48	48	96
4年生	69	43	112
5年生	67	59	126
6年生	86	54	140
7年生	65	56	121
8年生	66	63	129
9年生	79	64	143
合計	591	489	1080

2023.4.1現在

教職員数

校長	1
副校長	1
教頭	2
教務主任	2
教諭・講師	65
養護教諭	3
事務	3
学校管理員	2
学校図書教諭補助	2
スクールソーシャルワーカー	1
スクールカウンセラー	1
学校生活相談員	2
学校保健師	4
ALT	2
給食配膳員	3
特別支援教育支援員	7
看護師	1
校内フリースクール支援員	1
理科支援員	1
合計	104





どこよりも早く明日の教育に出会える学園  
You can attain the modern style of Education at KASUGA.

<p><b>【茨城県教育目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう</li> <li>◇じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う</li> <li>◇郷土を愛し協力しあう心を育てる</li> </ul>	<p><b>【学校教育目標】</b></p> <p>未来を拓き社会に貢献できる人材の育成</p> <p><b>【目指す児童生徒像】</b> しなやかな知性 ゆたかな感性 たくましい心身</p> <p><b>【目指す教師像】</b> 子どもの気持ちを理解できる教師 学び続け 授業力の高い教師</p>	<p><b>【つくば市教育目標】</b></p> <p>学びたくなる楽しい学園・学校 世界の明日をひらく 社会力豊かな 幼児・児童・生徒の育成</p> <p><b>【学びのイノベーション】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「教え」から「学び」へ</li> <li>◇「管理」から「自己決定」へ</li> <li>◇「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ</li> </ul>
--	---	--

★義務教育9年を貫く学びの連続性（系統的な指導、多様な異学年交流、リーダー学年の活躍の場）



- ★必要な力（学力）
- ① 課題を発見する力
  - ② 課題解決に向け、他者と協力し、試行錯誤しながら探求する力
  - ③ 学んだことを実社会や自己向上に生かそうとする力

**【組織目標】** 自ら学び、伝え合い、高め合うことができる児童生徒の育成

ゆたかな感性	しなやかな知性	たくましい心身
<p>★ 自分なりの目で物事を見て、自分の心で深く考えようとする姿</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 豊かにかかわり合う力の育成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権意識を育む環境づくり・多様性の尊重</li> <li>○学級活動や生徒会活動等における自発的・自治的な活動の推進</li> <li>○SDGsを意識した、実社会とつながる学びへの深化</li> <li>○外部人材を活用した豊かな体験活動</li> </ul> </li> <li>② 自己指導能力の育成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己決定の場や機会の工夫</li> <li>○自己有用感の向上</li> <li>○共感的人間関係の育成</li> </ul> </li> <li>③ 道徳教育の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな体験、内面に根ざした道徳性の育成</li> <li>○いじめの未然防止に向けた、「考え、議論する道徳」への質的転換</li> </ul> </li> </ol>	<p>★ その状況に応じて、必要なものを活用して課題を解決しようとする姿</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら課題を発見し、多様な他者と協働して試行錯誤しながら解決する教育活動の充実</li> <li>○教科担任制による専門性を生かした魅力ある授業</li> </ul> </li> <li>② ICT機器の効果的な活用                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の基礎となる情報活用能力の育成</li> <li>○情報モラル教育の充実</li> <li>○個別最適化学習と協働的な学びの充実</li> </ul> </li> <li>③ 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりの教育的ニーズに合った適切な支援</li> <li>○ユニバーサルデザインの視点による授業づくり</li> </ul> </li> </ol>	<p>★ 命の尊さを知り、困難なことにも前向きに立ち向かおうとする姿</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自己理解・自己管理能力の育成                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○コーチング等によるメタ認知力の育成</li> <li>○自己の生き方をみつめる系統的なキャリア教育の推進</li> </ul> </li> <li>② 健やかな身体づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の定着</li> <li>○薬物乱用防止教室、命の教室等の充実</li> <li>○運動量の確保と継続して運動に親しむ態度の育成</li> </ul> </li> <li>③ 安心・安全な教育環境づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○危機回避能力を育てるための計画的な防災・安全教育</li> <li>○教育相談の充実と、教職員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが連携・分担しながらのチーム支援</li> </ul> </li> </ol>
<p>★自分にはよいところがある。 (◎85%以上、◎80%以上)</p> <p>★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 (◎100%、◎100%)</p>	<p>★課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。 (◎85%以上、◎90%以上)</p> <p>★話し合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりできる。 (◎85%以上、◎85%以上)</p>	<p>★同じくらいの時刻に寝る。 (◎90%以上、◎85%以上)</p> <p>★難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。 (◎75%以上、◎70%以上)</p>

◆カリキュラムマネジメント

- 子どもや地域の実態を踏まえた教育課程を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進する。
- (1) 教科等横断的な教育課程を編成
- (2) PDCAサイクルで絶え間ない教育の質向上
- (3) 地域と連携した授業の編成

◆STEAM(スTEAM)教育の充実

- 各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくため、教科等の横断的な視点に立った教育活動を推進する。
- (1) 科学的に思考し、吟味して活用する力
- (2) 学びを生活や社会、自己向上に生かそうとする力

**【働き方改革の推進】** ①義務教育学校の特色を生かした協働体制の確立 ②部活動の負担軽減

**【コミュニティー・スクールの導入：地域とともにある学校づくり・人づくり・地域づくり】**

- <学校・家庭・地域の連携・協働体制の構築>
- 学校の情報や課題の共有 ○質の高い学校教育の実現 ○地域づくり（地域の課題解決）



義務教育9か年を貫く学びの連続性のある教育活動



前期ブロック(1~4年)  
~ 学びの土台づくり ~

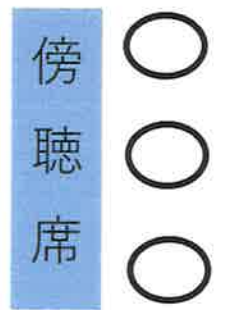
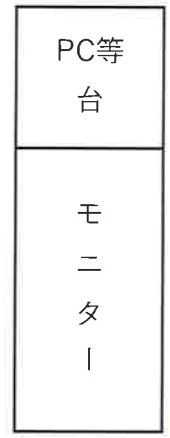
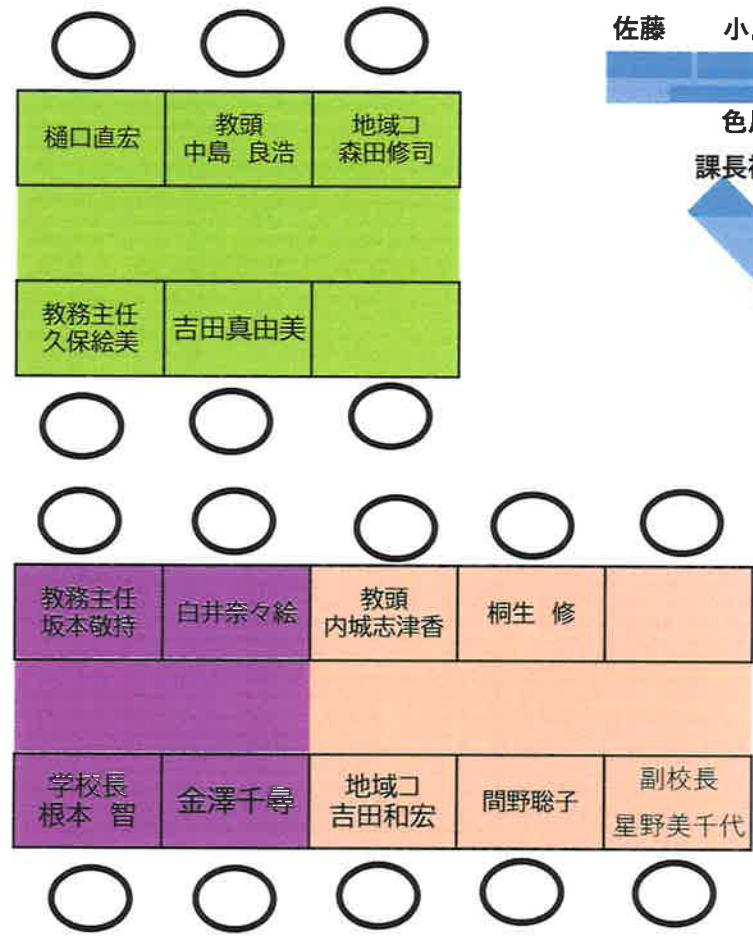
中期ブロック(5~7年)  
~ 学びの定着・拡充 ~

後期ブロック(8・9年)  
~ 学びの深化・発展 ~



# 座席表

副座長席  
座長席



欠席者 榮木憲太郎(コーチング)

廊下



## 会 議 録

会議の名称		令和5年度第2回春日学園コミュニティ・スクール推進会議	
開催日時		2023年7月13日(木) 開会 13:30 閉会 15:30	
開催場所		つくば市立春日学園義務教育学校 D棟2階多目的室	
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課	
出席者	委員	吉田 和宏 森田 修司 白井 奈々絵 樋口 直宏 桐生 修 間野 聡子 春日学園 校長 根本 智 副校長 星野 美千代 教務 久保 絵美	
	その他		
	事務局	生涯学習推進課：課長補佐 色川 純子、係長 飯島 遊 社会教育主事 渡邊 亮太、社会教育主事 村上 和宏、 地域連携教育指導員 酒井 和宏、地域連携教育指導員 小島 健	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 2人
非公開の場合はその理由			
議題		1 春日学園PTA活動について 2 授業参観 3 熟議「授業等の様子から見える児童生徒の成長をどう見守り、 ささえていくか」	
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 春日学園PTA活動について 4 授業参観 5 協議 熟議テーマ「授業等の様子から見える児童生徒の成長をどう見守り、支えていくか」 6 その他		

＜審議内容＞	
1	開会
2	挨拶 樋口座長、学校長
3	春日学園PTA活動について (1) 除草作業の様子 (2) 地区安全委員の活動と保護者による朝の立哨指導の紹介 (3) 図書委員や図書ボランティア活動の紹介 (4) 学園活動委員の制服等リユース活動の紹介
4	授業参観 6年4組 つくばスタイル科 5年2組 図工 9年2組 英語 8年理科 少人数指導の紹介

5 協議 熟議テーマ「授業等の様子から見える児童生徒の成長をどう見守り、支えていくか」

【感想・質問・意見等】

○学校の設備がよい。教えやすく、学びやすく思える。図書室にも行きたくなる工夫がされている。

○クラスの雰囲気が良い。児童生徒と教師の関係もよい。児童・生徒を尊重している。

○教え込みでなく、児童生徒が考え、活動している授業が多い。

○児童生徒自らが学習内容を、生活と関連付けたり、生かそうとしたりしている。

○話し合い活動に慣れている。普段から行われているのがわかる。

○話し合う時のグループの隊形がいつも違う。対話を重視している。

△グループ活動だと、やっているふりをしていて友達に任せてしまう子がいないだろうか。

△グループ活動や話し合い活動に入る前に、自分の考えをもってから臨めているのだろうか。

△学習者用端末を使いこなしているが、漢字を書く力が低下しているように感じる。

△不得意なところをどこまでできるようにするのか。得意なものをどのくらい伸ばしていくのか、匙加減が難しい。

●考える授業が多いので、個に応じた配慮をしてほしい。

●グループ活動を2つの教室で行うと、教師が不在になる教室が出てきてしまう。オープンスペース等を使うなどの工夫をするとよい。

●児童生徒の学びの過程をどのように把握しているのか。そのプロセスの評価方法を知りたい。

●グループでスライド等を作成したときに、一人ひとりの学習者用端末にもデータを残すようにしてほしい。

【これからの春日の子供たちにしてあげたいこと、望むこと】

・悩んだときに相談できる親・教員であること。また、家庭や学校だけでなく外の世界にも相談できる人や場をつくっていきたい。

・これからも卒業した子供たちが来やすい学校であってほしい。卒業生が関わることで、これから卒業していく子供たちも春日に戻ってきやすくなり、つながり続けることができる。親も同様である。

・アウトプットだけでなく、インプットの方も重要。基礎学力についてもしっかりと身につけてほしい。

・縦割り活動等で得た1～9年生の関係を大切にしてほしい。

6 その他

今度のCSの予定について（副校長）

第3回春日学園CS推進会議 11月7日（火）授業参観

第4回春日学園CS推進会議 2月21日（水）18：30～  
次年度への本格導入について



## 令和5年度第2回春日学園コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和5年7月13日（木）13：30～

場所：春日学園義務教育学校 多目的室

### 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 春日学園PTA活動について

4 授業参観

5 協 議

テーマ

「授業等の様子から見える児童生徒の成長をどう見守り、支えていくか」

今後の予定について

6 閉 会

## 会 議 録

会議の名称		令和5年度第3回春日学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		2023年11月7日(火) 開会14:30 閉会15:30		
開催場所		つくば市立春日学園義務教育学校 D棟2階多目的室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	吉田 和宏 森田 修司 吉田 真由美 樋口 直宏 間野 聡子 春日学園 副校長 星野 美千代 教頭 内城 志津香		
	その他			
	事務局	生涯学習推進課: 課長 澤頭 由紀子 社会教育主事 渡邊 亮太 村上 和宏、 地域連携教育指導員 酒井 和宏 小島 健、		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1人
非公開の場合はその理由				
議題		1 春日学園教育活動(春日学園祭)について 2 第1回学校評価アンケートについて 3 熟議「義務教育学校の特色を生かしたダイナミックな教育課程編成に向けて」		
会議録署名人		確定年月日	年	月 日
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 春日学園教育活動(春日学園祭)について 4 第1回学校評価アンケートについて 5 協議 熟議テーマ 「義務教育学校の特色を生かしたダイナミックな教育課程編成に向けて」 6 その他			

<審議内容> 1 開会  2 挨拶 樋口座長 副校長  3 春日学園教育活動(春日学園祭)について (D棟2階のフロアを案内しながら説明) (1) 一人一作品展示の意図 (2) PTA図書委員や図書ボランティア活動の紹介～図書館ブース～ (3) サン・プロジェクトの紹介(特別支援学級縦割り自立活動の展示)	
---	--



(4) 合唱の部（後期課程）の取組～オリジナル学級歌～

【感想・質問・意見等】

- ・学校評価アンケートの結果については、単年分析だけでなく、経年変化も分析しているのか。
- ・学校評価のアンケートから見えてきた課題は、家庭も関わって改善していく方策をとることがよいのではないか。
- ・後期課程生のノバホールでの合唱はすばらしかった。6年生や保護者が鑑賞する機会があるのはよい。

4 熟議 「義務教育学校の特色を生かしたダイナミックな教育課程編成に向けて」

- ・異学年交流活動  
理科の観察活動、縦割り体育、技能教科における合同授業、学年の制限をしないサマーキャンプ活動、後期課程全体への外部講師による性教育、9年間団活動等、異学年の教え合いができる活動
  - ・地域の先生  
先輩のお話（職業観を伝えてもらう）、昔遊び（生活科）、得意分野での提供、部活動体験（スポーツ技能を高められる・楽器の演奏を教える）、工場や研究所見学、赤ちゃんと遊ぼう等地域の人材を生かした活動
  - ・交流が生まれる取組  
同窓会、学校を中心とした地域イベント、先生方と保護者・地域の座談会、部活動の外部からの体験（少年団等の先行体験等）学校を地域に開放する活動
  - ・学校での取組  
6年生3月期の先取り独自の授業内容、小中教員でのT.T、4-3-2のブロック活動、先生方からのキャリアトーク等義務教育学校ならではの活動
- ・これらの活動を通して、「いつか自分も・・・」と将来をイメージできる児童生徒の育成により循環が生まれる取組となつてほしい。教職員の異動により、活動が途絶えることないようにしたい。
- ・先生方から普段の悩みや思いを聴く機会を設けたい。

5 その他

今度のCSの予定について（副校長）

第4回春日学園CS推進会議 2月21日（水）18:30～  
次年度への本格導入について

# 令和5年度第3回春日学園コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和5年11月7日（木）14：30～

場所：春日学園義務教育学校 多目的室

## 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 春日学園教育活動（春日学園祭）について

4 第1回学校評価アンケートについて

5 協 議

テーマ

「義務教育学校の特色を生かしたダイナミックな教育課程編成に向けて」

・つくばスタイル科

・各教科

今後の予定について

6 閉 会



令和 5 年度 春日学園コミュニティ・スクール推進会議  
 (第 3 回: 1 1 月 7 日 火曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
1	(1) 児童・生徒の保護者	吉田 真由美	よしだ まゆみ	PTA副代表	出席 欠席
2	(1) 児童・生徒の保護者	金澤 千尋	かなざわ ちひろ	PTA副代表	出席 欠席
3	(2) 地域住民	吉田 和宏	よしだ かずひろ	地域学校協働活動推進員 PTA代表	出席 欠席
4	(2) 地域住民	森田 修司	もりた しゅうじ	地域学校協働活動推進員	出席 欠席
5	(2) 地域住民	白井 奈々絵	しらい ななえ	吾妻まつり協力者	出席 欠席
6	(3) 各学校長・教職員	根本 智	ねもと さとし	学校長	出席 欠席
7	(3) 各学校長・教職員	星野 美千代	ほしの みちよ	副校長	出席 欠席
8	(3) 各学校長・教職員	内城 志津香	うちしろ しずか	教頭	出席 欠席
9	(3) 各学校長・教職員	中島 良浩	なかじま よしひろ	教頭	出席 欠席
10	(3) 各学校長・教職員	坂本 敬持	さかもと けいじ	教務主任	出席 欠席
11	(3) 各学校長・教職員	久保 絵美	くぼ えみ	教務主任	出席 欠席
12	(4) 学識経験者	樋口 直宏	ひぐち なおひろ	筑波大学	出席 欠席
13	(5) 関係行政機関の職員	桐生 修	きりゅう おさむ	つくば市役所	出席 欠席
14	(6) 教育委員会が適当と認める者	榮木 憲太郎	えいき けんたろう	コーチング	出席 欠席
15	(6) 教育委員会が適当と認める者	間野 聡子	まの さとこ	特定非営利活動法人 ままとーん	出席 欠席
16					
17					
18					
19					
20					

学校評価アンケート【結果】※（ ）内の表記は児童生徒の質問内容です。※数値は肯定的評価「そう思う」+「だいたいそう思う」の割合

番号	質問内容	児童生徒	保護者	職員
知	1 学校は、子供たちが進んで授業に取り組めるように工夫している。(進んで授業に取り組んでいる。)		85.0	91.5
	2 学校は、授業を工夫し、子供たちの学力向上に努めている。(学校での授業内容がよくわかる。)		83.3	89.8
	3 本学園の「自ら学び、伝え合い、高め合う学習」は、お子さんの力を伸ばしている。(自分から学んだり、学んだことを伝え合ったり、新しいことに気づくなどの発見があったりする。)		75.9	79.7
	4 学校は、授業や学校行事などにおいて、ICTを効果的に活用している。(学習者用端末を積極的に使えている。)		76.2	94.9
	5 お子さんは、家庭学習が習慣化されている。(家庭学習に頑張っており取り組んでいる。)		66.2	55.9
感	6 お子さんは、楽しく学校へ通っている。(学校は楽しい。)		90.6	98.3
	7 学校は、子供一人ひとりのよさを認めている。(先生に、よいところやがんばったことを認めてもらっている。)		87.8	100
	8 学校は、友達とかかわり合う活動を通して、相手の気持ちを考えて行動できるような集団づくりに努めている。(思いやりをもって友だちに接している。)		84.8	96.6
	9 学校は、子供たちの心に寄り添った教育相談を行う等、悩みや相談に適切に対応している。(困ったときや悩んだときに、先生は話を聞いてくれる。)		73.0	100
	10 学校は、いじめの未然防止や早期発見に努め、間違った行動についてきちんと指導している。(先生は、いじめや間違った行動を見逃さず、しっかりと注意してくれる。)		66.9	96.6
体	11 学校は、生活指導(ルールやマナーについての指導)が適切に行われている。(みんなが気持ちよく生活するためのルールやマナーを守っている。)		85.0	83.1
	12 お子さんは、自分から進んであいさつをしている。(朝や帰りに地域の方に対して、校内では先生や友だちに進んであいさつをしている。)		66.7	47.5
	13 学校は、教育活動を工夫して子供たちの体力向上に努めている。(授業や休み時間に体を動かすことで、元気で体力もついてきている。)		69.8	74.6
	14 学校は、子供たちの健康や安全(通学、防犯、防災、コロナ感染症予防対策等)を考えた教育を十分に行っている。(命の大切さを知り、健康管理や安全に気を付けている。)		89.6	93.2
	15 お子さんは、進んで身の回りの整理整頓をしたり、時間の使い方を工夫したりして生活している。(身の回りの整理整頓を心がけたり、時間を大切に使うようにしたりしている。)		43.7	64.4
16 学校は、各種便りやスクリーンなどを通して、家庭・地域に情報を発信している。		84.4	96.6	
17 学校は、家庭への連絡や意思の疎通をきめ細やかにしている。		80.7	96.6	
18 学校は、教育環境の充実(施設整備、地域人材の活用、体験的な学習の充実など)に努めている。		80.5	84.7	
19 素直に「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。				
20 何でも相談できる友達がいる。				
21 「周囲の役に立っている」と感じる時がある。				
22 自分にはよいところがある				
23 自分が活躍できる場がある。				
24 将来の夢や目標をもっている。				

## 会 議 録

会議の名称		令和5年度第4回春日学園コミュニティ・スクール推進会議	
開催日時		2024年2月21日(水) 開会18:30 閉会20:00	
開催場所		つくば市立春日学園義務教育学校 D棟2階多目的室	
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課	
出席者	委員	吉田 和宏 森田 修司 桐生 修 吉田 真由美 樋口 直宏 間野 聡子 春日学園 校長 根本 智 副校長 星野 美千代 教頭 内城 志津香 中島 良浩 教務 坂本 敬持 久保 絵美	
	その他		
	事務局	生涯学習推進課: 課長補佐 色川 純子 係長 飯島 遊 社会教育主事 村上 和宏 地域連携教育指導員 酒井 和宏 小島 健	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0人
非公開の場合はその理由			
議題		1 第2回学校評価アンケートについて 2 次年度の学校運営方針の骨子について 3 熟議「コミュニティ・スクールとして春日学園が育てていきたい児童生徒に関する次年度への手立てについて」	
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 第2回学校評価アンケートについて 4 次年度の学校運営方針の骨子について 5 協議 熟議テーマ 「コミュニティ・スクールとして春日学園が育てていきたい児童生徒に関する次年度への手立てについて」 6 その他		

### <審議内容>

- 1 開会
- 2 挨拶 樋口座長  
学校長
- 3 第2回学校評価アンケートについて 星野副校長より  
子どもたちが頑張っていると思っている項目と、保護者や教員が頑張っていると思っている項目に相違がある。よい点はさらに伸ばし、肯定的評価が低いものに関しては原因を探り、改善していく。



**【感想・質問・意見等】**

・前回から比べて肯定的評価が上がっている。9割越えということは毎年のことなのか。

→「楽しく学校で過ごせている」と春日学園の子どもたちは感じている。しかし、1割の子どもたちからは肯定的な評価が得られていないので、その子どもたちも注視していきたい。

・前回からすべて評価が上がっている。先生方に感謝したい。しかし、廊下に掲示されているいじめ防止フォーラムでの数値と差があるのはなぜか。

→いじめフォーラムで話し合いをし、各クラスで出た問題点の改善策に取り組んだ後に、評価アンケートをとった。その成果が今回のアンケート結果に反映したと思われる。

4 次年度の学校運営方針の骨子について 根本学校長より

春日学園義務教育学校グランドデザインの説明

これまでのものは教師サイドのものだった。次年度のグランドデザインは子どもたちがみてもわかるようなものに変更したい。

**【感想・質問・意見等】**

・大人だとスモールステップで進めるための方策を考えてしまうが、「ゆたかな感性」「しなやかな知性」「たくましい心身」だけ明記し、子どもたち自身に考えてもらえるといい。

・教職員が異動し、方針が変わることがあるのか。継続性はあるのか。

→前年度からの方針を受け、子どもたちの姿を中心に考えている。やりたいこと、伝えたいことをグランドデザインに加え、さらに子供たちの姿が中心となるようなものをつくりたい。

・子どもたちに投げかけ、ワークショップを行い、作り上げていくのもよいのでは。

5 協議 熟議テーマ

「コミュニティ・スクールとして春日学園が育てていきたい児童生徒に関する次年度への手立てについて」

**文化チーム（春日学園祭バージョンアップ大作戦）**

**【現在】**・文化祭期間の中でさまざまなことが行えた。（大洗高等学校マーチング鑑賞、合唱祭、PTA 図書ボランティアの企画等）

**【課題】**・出店がない。

・保護者・OB・OG との交流や地域との関わりがない。

・子どもたちの盛り上がりもほしい

**【手立て】**・子供が企画したことなら保護者からも協力が得やすいのでは。

・常にかかわりをもてるようにしておくボランティア等の協力も得やすい。

・小さなことの方が協力しやすいと思っている保護者が多いのでは。

・学校に来て一緒に過ごすことでいい関係づくりができ、今後につながってい

く。

#### 防災チーム（避難訓練バージョンアップ大作戦）

【現在】・避難訓練といえば、学校でやっているというイメージ。

- ・家庭での取り組みには差がある。
- ・備蓄について。

【課題】・安全に関する意識向上。

- ・防災に関する勉強会が必要。
- ・避難所になることを想定しているのか。

【手立て】・サマーキャンプを企画してみる。

- ・暑さ対策、防寒対策、仮設トイレ、炊き出し等について、まずは、勉強会を企画し、シミュレーションしてみる。そして実践してみてもよいのでは。

#### 6 その他

- ・今年度のCS 推進会議全日程が終了
- ・春日学園コミュニティ・スクール推進会議等に関するアンケート調査協力依頼
- ・のぼり旗デザインについて

## 令和5年度第4回春日学園コミュニティ・スクール推進会議

日時：令和6年2月21日（水）18：30～

場所：春日学園義務教育学校 多目的室

### 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 議事確認

4 協 議

(1)第2回学校評価アンケートについて

(2)次年度の学校運営方針の骨子について

(3)熟議「コミュニティ・スクールとして春日学園が育てていきたい児童生徒に関する次年度への手立てについて」

5 諸 連 絡

6 閉 会



# 令和5年度 つくば市立春日学園義務教育学校グランドデザイン



どこよりも早く明日の教育に出会える学園  
You can attain the modern style of Education at KASUGA.

<p><b>【茨城県教育目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう</li> <li>◇じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う</li> <li>◇郷土を愛し協力しあう心を育てる</li> </ul>	<p><b>【学校教育目標】</b></p> <p>未来を拓き 社会に貢献できる人材の育成</p> <p><b>【目指す児童生徒像】</b> しなやかな知性 ゆたかな感性 たくましい心身</p> <p><b>【目指す教師像】</b> 子どもの気持ちを理解できる教師 学び続け 授業力の高い教師</p>	<p><b>【つくば市教育目標】</b></p> <p>学びたくなる楽しい学園・学校 世界の明日をひらく 社会力豊かな 幼児・児童・生徒の育成</p> <p><b>【学びのイノベーション】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「教え」から「学び」へ</li> <li>◇「管理」から「自己決定」へ</li> <li>◇「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ</li> </ul>
--	--	--

★義務教育9年を貫く学びの連続性（系統的な指導、多様な異学年交流、リーダー学年の活躍の場）

<p>前期（1年～4年） ～ 学びの土台作り ～</p>	<p>中期（5年～7年） ～ 学びの定着・拡充 ～</p>	<p>後期（8年・9年） ～ 学びの深化・発展 ～</p>
----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

★必要な力（学力）

- ① 課題を発見する力
- ② 課題解決に向け、他者と協力し、試行錯誤しながら探求する力
- ③ 学んだことを実社会や自己向上に生かそうとする力

## 【組織目標】自ら学び、伝え合い、高め合うことができる児童生徒の育成

<p><b>ゆたかな感性</b></p> <p>★ 自分なりの目で物事を見て、自分の心で深く考えようとする姿</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 豊かにかかわり合う力の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権意識を育む環境づくり・多様性の尊重</li> <li>○学級活動や生徒会活動等における自発的・自治的な活動の推進</li> <li>○SDGsを意識した、実社会とつながる学びへの深化</li> <li>○外部人材を活用した豊かな体験活動</li> </ul> </li> <li>② 自己指導能力の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己決定の場や機会の工夫</li> <li>○自己有用感の向上</li> <li>○共感的人間関係の育成</li> </ul> </li> <li>③ 道徳教育の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな体験、内面に根ざした道徳性の育成</li> <li>○いじめの未然防止に向けた、「考え、議論する道徳」への質的転換</li> </ul> </li> </ol> <p>★自分にはよいところがある。（◎85%以上、◎80%以上）</p> <p>★いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。（◎100%、◎100%）</p>	<p><b>しなやかな知性</b></p> <p>★ その状況に応じて、必要なものを活用して課題を解決しようとする姿</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善             <ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら課題を発見し、多様な他者と協働して試行錯誤しながら解決する教育活動の充実</li> <li>○教科担任制による専門性を生かした魅力ある授業</li> </ul> </li> <li>② ICT機器の効果的活用             <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の基盤となる情報活用能力の育成</li> <li>○情報モラル教育の充実</li> <li>○個別最適化学習と協働的な学びの充実</li> </ul> </li> <li>③ 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりの教育的ニーズに合った適切な支援</li> <li>○ユニバーサルデザインの視点による授業づくり</li> </ul> </li> </ol> <p>★課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。（◎85%以上、◎90%以上）</p> <p>★話し合いを通して、自分の考えを深めたり広げたりできる。（◎85%以上、◎85%以上）</p>	<p><b>たくましい心身</b></p> <p>★ 命の尊さを知り、困難なことにも前向きに立ち向かおうとする姿</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自己理解・自己管理能力の育成             <ul style="list-style-type: none"> <li>○コーチング等によるメタ認知能力の育成</li> <li>○自己の生き方を見つめる系統的なキャリア教育の推進</li> </ul> </li> <li>② 健やかな身体づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の定着</li> <li>○薬物乱用防止教室、命の教室等の充実</li> <li>○運動量の確保と継続して運動に親しむ態度の育成</li> </ul> </li> <li>③ 安心・安全な教育環境づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>○危機回避能力を育てるための計画的な防災・安全教育</li> <li>○教育相談の充実と、教職員とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが連携・分担しながらのチーム支援</li> </ul> </li> </ol> <p>★同じくらしい時刻に寝る。（◎90%以上、◎85%以上）</p> <p>★難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。（◎75%以上、◎70%以上）</p>
--	---	--

<p>◆カリキュラムマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもや地域の実態を踏まえた教育課程を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教科等横断的な教育課程を編成</li> <li>(2) PDCAサイクルで絶え間ない教育の質向上</li> <li>(3) 地域と連携した授業の編成</li> </ol>	<p>◆STEAM(スティーム)教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくため、教科等の横断的な視点に立った教育活動を推進する。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 科学的に思考し、吟味して活用する力</li> <li>(2) 学びを生活や社会、自己向上に生かそうとする力</li> </ol>
--	--

【働き方改革の推進】①義務教育学校の特色を生かした協働体制の確立 ②部活動の負担軽減

【コミュニティー・スクールの導入：地域とともにある学校づくり・人づくり・地域づくり】  
＜学校・家庭・地域の連携・協働体制の構築＞  
○学校の情報や課題の共有 ○質の高い学校教育の実現 ○地域づくり（地域の課題解決）

のぼり旗 原案 【9年女子生徒のデザイン】

学校・保護者・地域・行政が協力するイメージとかがやくん

